

令和元年度 宮城県教育委員会  
志教育支援事業

白石市立福岡中学校区

# 志教育実践事例集



とものつくろう白石の未来  
～White Will (しろい志)～



志教育支援事業 福岡中学校区連絡協議会

## ～ 目 次 ～

### I 福岡中学校区としての取組概要

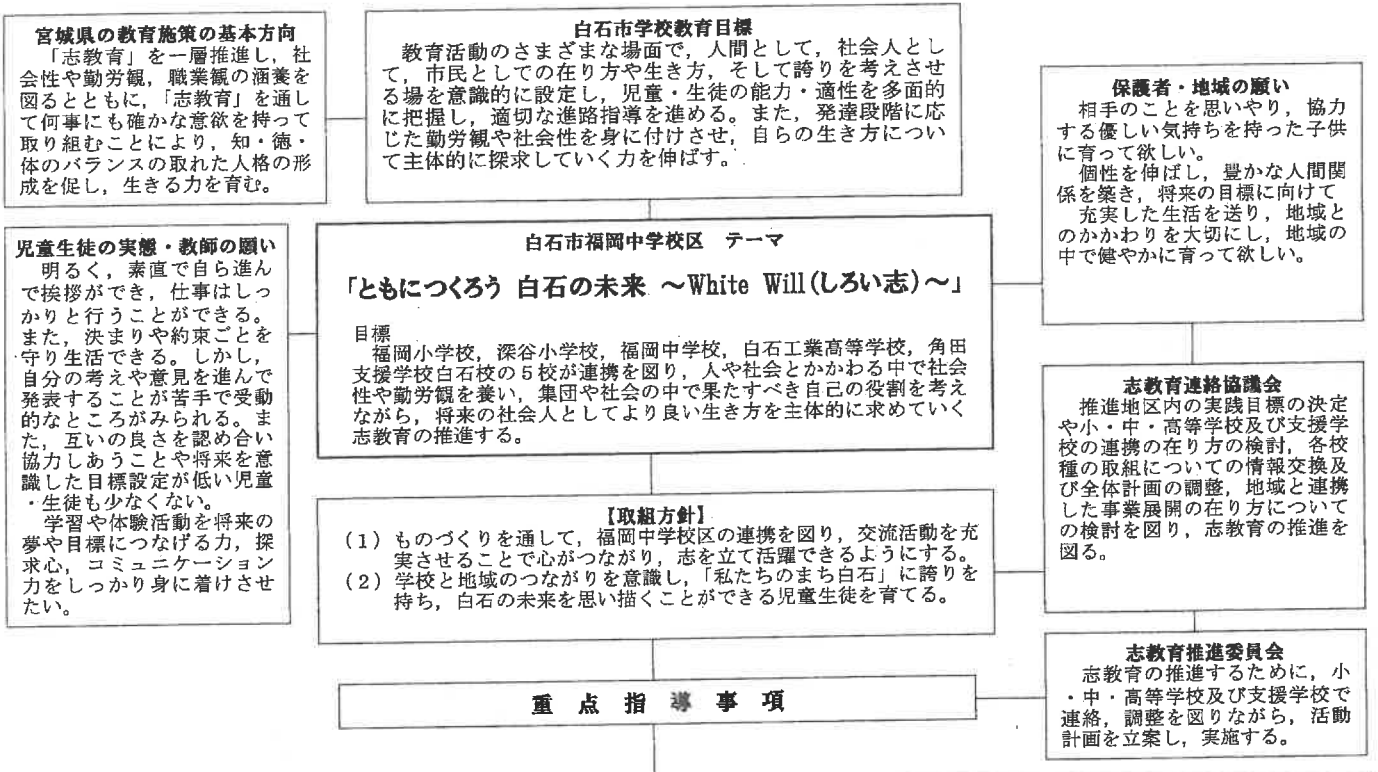
福岡中学校区実践構想図	P.	1
福岡中学校区事業計画	P.	2
福岡中学校区実践報告	P.	3～ 7

### II 各学校の実践

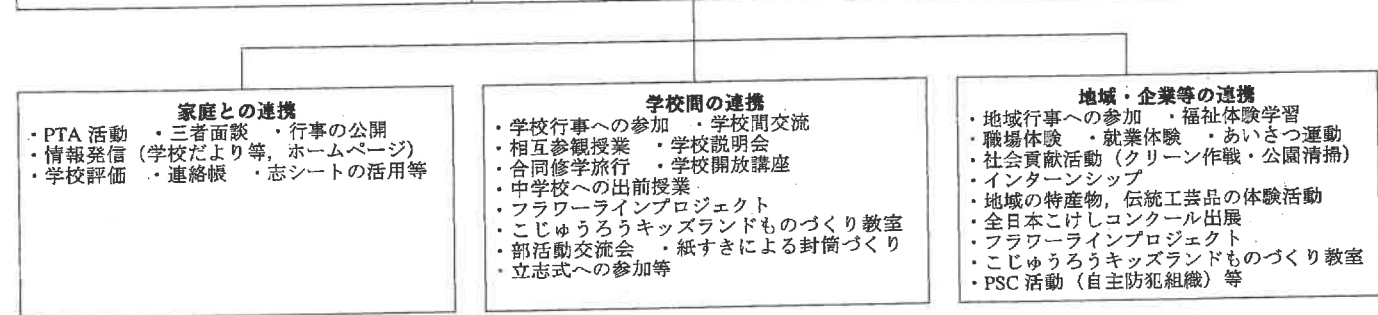
白石市立福岡小学校の実践	P.	8～ 9
白石市立深谷小学校の実践	P.	10～11
白石市立福岡中学校の実践	P.	12～13
宮城県白石工業高等学校の実践	P.	14～15
宮城県立角田支援学校白石校の実践	P.	16～17

# I 福岡中学校区としての取組概要

白石市福岡中学校区志教育実践構想図



かかわる	もとめる	はたす
<p><b>【小学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人々と接しながら、あいさつや返事ができ、自分の気持ちを相手に伝えることができる。</li> <li>友達と協力する中で、お互いの良さを認め合ったり、励ましあったりすることができる。</li> <li>様々な集団の中で、自己を生かすことができる。</li> </ul> <p><b>【中学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己を肯定的に捉えさせ、他者を理解し、尊重する態度を育てる。</li> <li>より良い人間関係を築く力や豊かな社会性を身につけさせる。</li> <li>人間関係の大切さを理解させ、信頼しあえる学級集団作りに努める。</li> </ul> <p><b>【高等学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>より良い人間関係を構築するとともに、自己理解に努め、自己を律する力を養い、他者を寛容する力を高める。</li> <li>学校行事、地域社会の中での自己の在り方、生き方の価値を考えさせる。</li> <li>互いに高めあう人間関係を構築させ、自己を客観視し、自己の在り方、生き方にかかわる価値観の認識を深めさせる。</li> </ul> <p><b>【特別支援学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>場に応じた挨拶や返事ができるようにする。</li> <li>ルールやマナーを守って生活させる。</li> <li>友達を協力する中で、お互いの良さを認め合い、励ましあう気持ちを身につけさせる。</li> <li>体験活動を通して、社会とかかわりを体験し、自立の基礎を養わせる。</li> </ul>	<p><b>【小学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の好きなことや興味を持ったことに進んで取り組ませる。</li> <li>将来の夢や希望を持ち、学習や体験活動に取り組ませる。</li> <li>夢や目標を持ち、将来の生活や仕事について、学習や体験活動を通して考えさせる。</li> </ul> <p><b>【中学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来の職業と学習との関わりを理解させ、主体的な学びを身につけさせる。</li> <li>学習や体験活動を通して、より深く追求しながら将来のより良い生き方を求めさせる。</li> </ul> <p><b>【高等学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の興味・関心・適正を分析させ、それに応じた進路について考えさせる。</li> <li>将来の進路目標を明確にし、問題解決能力の向上と、より良い環境を創るための発信力を高める。</li> <li>自己の課題を解決していく態度やスキルを身につけさせ、将来についての総合的・現実的な理解に基づいて進路を主体的に切り拓かせる。</li> </ul> <p><b>【特別支援学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎日繰り返すことで、基本的な生活習慣を身につけさせる。</li> <li>体験活動を通して、働く態度と基本的な技能を養い、将来の進路に対する意欲を高めさせる。</li> <li>高等部見学を通して、自らの進路に対して考えさせる。</li> </ul>	<p><b>【小学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭での手伝いや学級の係活動・清掃活動等に関心を持って取り組ませる。</li> <li>係活動の必要性が分かり、自分の仕事に積極的に取り組ませる。</li> <li>自己の役割や責任を果たすことで、人のために役立つ喜びを体験させる。</li> </ul> <p><b>【中学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標実現に向けて、最後までやり抜く態度を身につけさせる。</li> <li>地域の奉仕作業等に積極的に取り組み、自分たちの役割を果たす体験を通して社会の一員としての自覚を持たせる。</li> </ul> <p><b>【高等学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校や社会において自分の果たすべき役割を自覚させ、積極的に学校生活に取り組ませる。</li> <li>インターンシップやものづくり企業見学会、修学旅行等を通して、社会の仕組みを理解し職業人としての意識を高める。</li> <li>社会の一員として、職業という役割を担い、その責任を果たすための努力をいとわない姿勢と心構えを持たせる。</li> </ul> <p><b>【特別支援学校】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>係活動や体験活動に自主的に取り組ませる。</li> <li>作業学習を通して、仕事に責任を持って取り組み、働くことへの意識付けとする。</li> </ul>



福岡中学校区志教育支援事業計画（小学校・中学校・高等学校・支援学校が連携した取組）

月	日	推進地区	宮城県教育委員会
4	24日(水)	第1回「志教育支援事業」推進会議（県庁）	第1回「志教育支援事業」推進会議
5	30日(木)	第1回 連絡協議会	
6	5日(水) 中旬	第1回 推進委員会 フラワーラインプロジェクト(プランター枠製作開始) 【小・中・高・支援】	
7	中旬 23日(火)	フラワーラインプロジェクト（苗植付） 【小・中・高・支援】 第2回 推進委員会	
8	2日(金) 24日(土) 26日(月) 31日(土)	第2回「志教育支援事業」推進会議（県庁） コーディネーター：新田新一郎氏との打合せ フラワーラインプロジェクト(プランター枠引継ぎ式) 【小・中・高・支援】 こじゅうろうキッズランドものづくり教室 【小・中・高】	第2回「志教育支援事業」推進会議
9	19日(木) 28日(土)	第3回 推進委員会 部活動交流会 【中・高】	
10	3日(木) 8日(火)	紙すきによる封筒づくり（牛乳パック引継ぎ式） 【中・高・支援】 第2回 連絡協議会	
11	6日(水) 16日(土)	紙すきによる封筒づくり 【中・高・支援】 志フォーラム2019（宮城県美術館）	
12	5日(木) 6日(金) 7日(土) 9日(月) 10日(火) 16日(月)	第4回 推進委員会 紙すきによる封筒づくり（封筒贈呈式） 【中・高・支援】 立志式 【小・中・高】 第3回 連絡協議会 コーディネーター：新田新一郎氏との打合せ フラワーラインプロジェクト（プランター贈呈式） 【小・中・高・支援】	
1	10日(金) 16日(木)	第5回 推進委員会 実践事例発表会 【小・中・高・支援】	
2	12日(水)	第3回「志教育支援事業」推進会議（県庁）  事業実施報告書、収支決算書提出（2月末）	第3回「志教育支援事業」推進会議

## フラワーラインプロジェクト

### 1 実施期日

6月～12月

### 2 活動内容

工業高校生がプランターの枠を製作し、小・中・支援学校の児童生徒が花の苗をプランターに植栽しプランター枠へ彩色を行う。完成したものを公共施設、学校に設置してもらう。

### 3 志教育との関連

#### かかわる

○プランターの製作を通して、福岡中学校区の学校の連携を図り、交流活動を充実させる。

#### はたす

○白石市内の施設に製作したプランターを設置していただき、地域との関わりを通して地域の環境を彩り、地域への想いを育てる。

### 4 具体的な活動の流れ

#### (1) 事前指導

- ①「フラワーラインプロジェクト」を行う意義について理解する。
- ②活動内容と役割を把握する。

#### (2) 体験活動

- ・工業高等学校…プランター枠の製作（図面製作、CAD入力、切断作業、組み立て作業、面取り作業、塗装作業）
- ・プランター枠引継ぎ式
- ・小学校、中学校…プランター枠への彩色、花の苗植え、水やり・管理
- ・支援学校…花の苗植え、水やり・管理
- ・プランター贈呈式（JR白石駅、白石市図書館、こじゅうろうキッズランド、おもしろいし市場に贈与）

#### (3) 事後指導

- ・活動の振り返り
- ・次年度の苗の準備



### 5 活動の振り返り

#### 成果

児童・生徒が自分の町を見つめ、白石への関心を深めることができた。また、施設からの感謝の気持ちを受け、自己有用感を高め、地域に支えられていることを自覚することができた。

#### 課題

苗の準備、花の開花時期、プランターの管理と学校行事等の調整等を適切に計画する必要がある。

## こじゅうろうキッズランドものづくり教室

### 1 実施期日

8月31日（土）

### 2 活動内容

こじゅうろうキッズランドに来場する子どもたちへ工業高校の部活動で作れるものを教えながら完成させ、プレゼントする。

ものづくり見守り隊（高校生）、ものづくり教え隊（中学生）、ものづくり伝え隊（小学生）、ものつくり隊（来場した子ども）

### 3 志教育との関連

#### かかわる

○ものづくり教室の活動を通して、福岡中学校区の各校の連携を図り、交流活動を充実させる。

#### はたす

○集団の中で、自分の役割を果たすことで、人のために役立つ喜びを体験し、自己有用感を高める。

### 4 具体的な活動の流れ

#### (1) 事前指導

①「こじゅうろうキッズランドものづくり教室」を行う意義について理解する。

②活動内容と役割を把握する。

#### (2) 体験活動

##### ・ものづくり教室①【とっきーのキーホルダー】

PR活動等を行い、製作の説明を行いながら部品を選んでもらい、グルーガンを用いて接着し、ストラップを取り付けて完成させる。

##### ・ものづくり教室②【テクにゃんこキーホルダー】

PR活動等を行い、製作の説明を行い、プラ板に絵やイニシャルなどを書いてもらう。加熱成形し、ストラップを取り付けて完成させる。

##### ・イベント企画【機関車の乗車体験】

PR活動等を行い、乗車前の注意事項の説明を行い、運転手の帽子を渡す。実際に機関車に乗車させ運行する。

#### (3) 事後指導

・活動の振り返り



### 5 活動の振り返り

#### 成果

他者とかかわるためには、相手の立場で物事を考えることが大切であることを自覚することができた。また、感謝の気持ちを受け、自己有用感を高めることができ、地域に貢献しようとする意欲を高めることができた。

#### 課題

企画や準備等多くの場面で白石工業高校の力が大きかった。今後も継続していくためにも、小中学生にも考えさせ、自分たちでできる場面を多くすることが大切である。

## 部活動交流会

### 1 実施期日

9月28日(土)

### 2 活動内容

福岡中学校のバレーボール部、卓球部の生徒が、白石工業高校の生徒・顧問の先生から部活動の指導を受ける。

### 3 志教育との関連

#### かかわる

○集団や組織の中で、よりよい人間関係を築く力や社会性を養う。

#### もとめる

○中高間の部活動交流において、先輩方の姿を通して、自分の在り方について主体的に考える。

#### はたす

○部活動交流を通して、自分の果たすべき役割を自覚し、自己を生かそうとする。

### 4 具体的な活動の流れ

#### (1) 事前指導

- ・「部活交流会」を行う意義について理解する。

#### (2) 体験活動

- ・開会式

趣旨説明、日程及び諸注意

- ・交流会

〈バレーボール部〉

挨拶

ウォーミングアップ

基本練習

模範試合

- ・閉会式

中学生から感想

高校生から感想

顧問の先生からの言葉

写真撮影

#### (3) 事後指導

- ・活動の振り返り



### 5 活動の振り返り

#### 成果

交流会を体験し、中学生は、具体的な目標と主体的に取り組む姿勢を身に付けることができた。また高校生は、自分の役割を自覚し、自己有用感をもつことができた。

#### 課題

一部の部活動の交流となったが、大変意義のある活動のため、今後も継続し、より多くの部の交流になるようにしていきたい。



## 紙すきによる封筒づくり会

### 1 実施期日

11月6日（水）

### 2 活動内容

支援学校，白石工業高校，福岡中学校の生徒が協同して，牛乳パックを原料とした紙すきを行い，福岡中学校の立志式において，親子の手紙交換時に使用する封筒づくりを行う。

### 3 志教育との関連

#### かかわる

○紙すき作業を通して，各学校の交流を図り，交流活動を充実させる。

#### はたす

○人とのかかわりの中で，自己の役割を果たし，人のために役立つ喜びを体験し，自己有用感を高める。

### 4 具体的な活動の流れ

#### (1) 事前指導

- ①「紙すきによる封筒づくり」を行う意義について理解する。
- ②活動内容と役割を把握する。

#### (2) 体験活動

- ・牛乳パック引継ぎ式（10/3）
- ・紙すき作業  
（パック切り，はがし・ちぎり，ミキサー，紙すき）
- ・封筒づくり  
（紙折り，紙の印づけ，のりづけ）
- ・封筒贈呈式（12/6）
- ・立志式（親子手紙交換）

#### (3) 事後指導

- ・活動の振り返り



### 5 活動の振り返り

#### 成果

生徒の交流を通して，人の温かさを感じながら自己の役割や責任を果たすことができた。また，中学生は，自分たちの立志式で使用する封筒づくりを協力してもらうことで，自分たちが地域の一員として，他者とのかかわりについて学ぶことができた。

#### 課題

材料である牛乳パックの調達をもっと広く呼び掛ける必要があった。今後も継続していけるよう，時期や参加生徒等の調整を図りたい。

## 立志式

### 1 実施期日

12月7日（土）

### 2 活動内容

福岡中学校の立志式において、工業高校生（福岡中学校卒業生）から「後輩への言葉」を送り、「親子の手紙交換」時に、支援学校、白石工業高校、福岡中学校の生徒が協同して製作した封筒を使用した。また、福岡小学校・深谷小学校の児童は、立志式の様子をビデオで視聴し将来の生活について考える機会とした。

### 3 志教育との関連

#### かかわる

○自分の生活を振り返り、自分を支えてくれた方々への感謝の気持ちを伝える。

#### もとめる

○自分の将来に夢や希望を抱き、志を立て、主体的な生き方を考えさせる。

#### はたす

○学校生活や地域の中で、自己の役割や責任を果たすことが大切であることを自覚する。

### 4 具体的な活動の流れ

#### (1) 事前指導

- ①「立志式」を行う意義について理解する。
- ②「14歳の誓い」を考える。

#### (2) 体験活動

- ・校長式辞
- ・「立志の言葉」（福岡中学校2年生）
- ・「励ましの言葉」（福岡中学校3年生）
- ・「卒業生から後輩への言葉」（白石工業高校3年生）
- ・「14歳の誓い」（福岡中学校2年生全員）
- ・「親と子の手紙交換」（福岡中学校2年生全員・保護者）
- ・「記念合唱」（福岡中学校2年生全員）
- ・校歌斉唱

#### (3) 事後指導

- ・活動の振り返り
- ・文集製作



### 5 活動の振り返り

#### 成果

将来の夢や職業、理想とする生き方についてしっかりと考える機会となった。また、社会の中で、自己の果たすべき役割を自覚することができた。

#### 課題

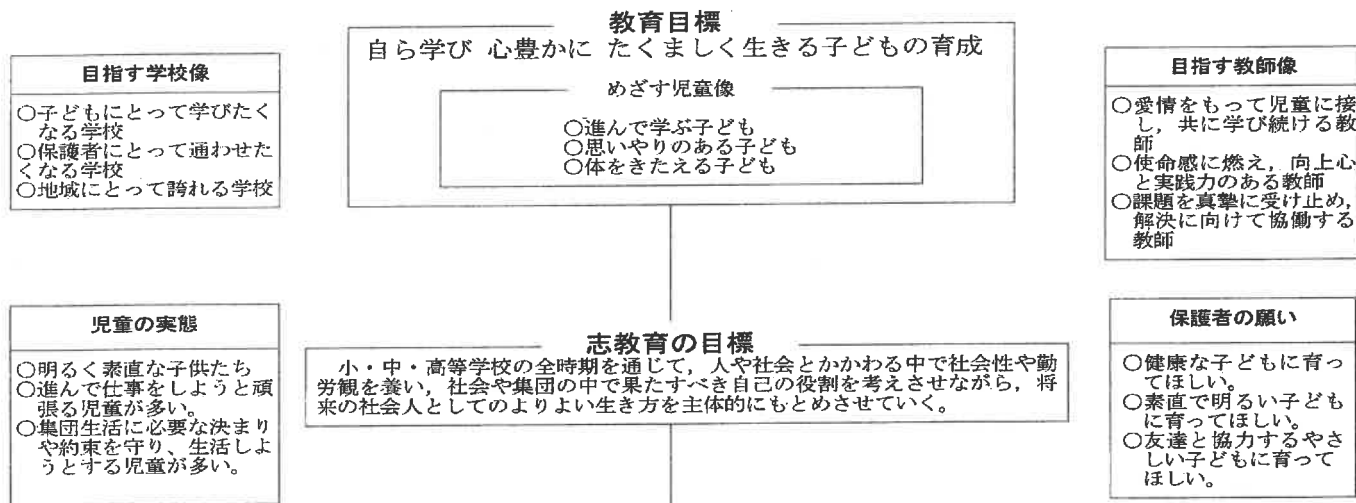
立志式で将来について深めた気持ちを今後も継続して持ち続けられるようにしたい。

## II 各学校の実践

# 白石市立福岡小学校の実践

## 志教育全体計画

◆重点事項 豊かな心 「道徳・志教育の充実」



重点指導目標			
	人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
低学年	○家族や友達等の身近な人々と接しながら、あいさつや返事をし、自分の気持ちを伝えることができる。	○自分の好きなことや興味をもったことに進んで取り組む。	○家庭での手伝いや学級の係活動・清掃活動等に関心をもって取り組む。
中学年	○友達と協力する中で、お互いのよさを認め合ったりすることができる。	○将来の夢や希望をもち、学習や体験活動に取り組む。	○係活動の必要性がわかり自分の仕事に積極的に取り組む。
高学年	○様々な集団の中で自己を生かすことができる。	○夢や目標をもち、将来の生活や仕事について、学習や体験活動を通して考える。	○自己の役割や責任を果たすことで、人のために役立つ喜びを体験する。

具体目標			
低学年	○あいさつや返事をする。 ○「ありがとう」や「ごめんなさい」を言う。 ○自分の考えをみんなの前で話す。  ○自分の好きなことや嫌なことをはっきり言う。 ○友達と仲良く遊び、助け合う。 ○お世話になった人などに感謝し、親切にする。	○自分の好きなもの、大切なものを持つ。 ○学校でしてよいことと悪いことがあることが分かる。  ○身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。  ○作業の準備や片付けをする。 ○決められた時間やきまりを守ろうとする。	○係や当番の活動に取り組み、それらの大切さが分かる。  ○家の手伝いや割り当てられた仕事・役割の必要性が分かる。  ○自分のことは自分で行おうとする。
中学年	○自分の意見や気持ちをわかりやすく表現する。 ○友達の良いところや考えを理解しようとする。 ○友達と協力して、学習や活動に取り組む。  ○自分のよいところを見つける。 ○友達の良いところを認め、励まし合う。 ○自分の生活を支えている人に感謝する。	○自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。 ○してはいけないことが分かり、自制する。  ○いろいろな職業や生き方が分かる。 ○分からないことを、図鑑などで調べたり、質問したりする。  ○将来の夢を持つ。 ○計画づくりの必要性に気付き、作業の手順が分かる。 ○学習時の計画を立てる。	○係や当番活動に積極的にかかわる。 ○働くことの楽しさが分かる。  ○互いの役割や役割分担の必要性が分かる。 ○日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。  ○自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。 ○自分の力で課題を解決しようとする。
高学年	○思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え行動しようとする。 ○異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任を果たそうとする。  ○自分の長所や欠点に気付き、自分らしさを発揮する。 ○話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。	○係活動などで自分のやりたい係、やれそうな係を選ぶ。 ○教師や保護者に自分の悩みや葛藤を話す。  ○身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。 ○自分に必要な情報を探す。  ○将来のことを考えることが必要なことが分かる。 ○憧れの職業を持ち、今、しなければならないことを考える。	○施設や・職場見学等を通し、働くことの大切さや苦労が分かる。 ○学んだり体験したりしたこと、生活や職業との関連を考える。  ○生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。 ○将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。

教 科	生活科・総合的な学習の時間	道 徳	特別活動
○基礎・基本の定着と意欲の向上 ○体験的、問題解決的学習の積極的な展開 ○学習したことの生活への展開	○地域の自然やくらしへの興味・関心の高揚 ○課題発見能力や課題解決能力の育成 ○地域の人との交流	○基本的な生活習慣の確立 ○思いやりの心の伸長、自他を尊重する態度の育成 ○目標に向かって努力する態度の育成	○心身の調和のとれた発達と個性の伸長 ○集団としての自覚 ○協力的な態度の育成と自主的、実践的な行動の形成

※みやぎの先人集「未来への架け橋 I・II」の活用

<p style="text-align: center;"><b>地域との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ運動</li> <li>○社会貢献（クリーン作戦 公園清掃）</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>学校間連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福岡中学校との交流（中学校見学・体験授業）</li> <li>○深谷小学校との連携 ○幼・保・小交流</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 福岡小学校実践事例

## 第5学年 「被災地訪問学習」 総合的な学習の時間

1 実施期日  
9月～3月

2 志教育との関連

**かかわる** 被災地訪問学習を通して、沿岸部の震災の被害状況を伝えている人と関わり、復興及び防災への想いを感じ取る。

**もとめる** 被災地訪問学習での体験を通して、広い視野で被災地の現状や復興について関心を持ち、自らの役割について考える。

**はたす** 被災地訪問学習での体験や東日本大震災の被害の概要などの調べ学習を通して学んだことを、全校集会で他学年児童に発表すると共に、自分の命を守るためにはどのような行動をしたらよいかを判断できるようになる。

3 具体的な活動の流れ

(1) 事前学習

①震災当時の自分たちの生活を想起する。

②震災がもたらした故郷への被害の状況や復興の様子に触れることで、これからの学習に関心をもつ。

③調べたい内容や聞きたいことをまとめる。

(2) 被災地訪問学習

①山下地域交流センターでは、非常食備蓄倉庫やマンホールトイレなど、非難に備えた施設の見学をした。

②旧中浜小学校では、被災状況が記されたパネルボードを見ながら、当時の被害状況や屋根裏に避難したときのことを聞き、実際に津波が押し寄せてきた高さを見て津波の恐ろしさを実感していた。

③避難体験は、実際に避難公園に指定されている場所の頂上まで歩いて体感し、集団で一斉に道路を横断する必要性を聞いて訓練を行った。

(3) 事後学習

①活動を振り返り、調べたことや聞いたことをまとめ、全校集会の発表の計画を準備する。

②3月11日の全校集会で、被災地訪問学習で学んだことや伝えたいことを発表する。



4 活動の振り返り

成果

・震災当時の自分の生活地域と沿岸部との被害の違いを知ることができ、それをまとめることで、地域の防災について考えていこうとする意識を育むことができた。

課題

・東日本大震災の当時の状況が記憶にない児童がこれから増えてくるので、活動の意義を明確にした上で児童に取り組ませる必要がある。

# 白石市立深谷小学校の実践

## 志教育全体計画

白石市立深谷小学校

<p>《児童の実態・教師の願い》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつができ明るく素直である。</li> <li>・自らの将来像が描けていない児童が多い。</li> <li>・自分の考えや意見を進んで発表させたい。</li> <li>・互いのよさを認め合い協力し合う児童にしたい。</li> </ul>	<p>《学校教育目標》</p> <p>ふるさを誇りに思うかしこくやさしくたくましい児童の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考える子ども</li> <li>・思いやりのある子ども</li> <li>・健康と安全に気を付ける子ども</li> </ul>	<p>《保護者・地域の願い》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力を身に付けさせたい。</li> <li>・個性を伸ばし、豊かな人間関係を築かせたい。</li> <li>・心身ともに健康な生活を送ってほしい。</li> <li>・地域とのかかわりを大切に、地域の中で健やかに育ってほしい。</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>志教育(進路指導・キャリア教育)の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達とかかわらせながら働くよろこびや大切さを味わわせる。</li> <li>○年齢の異なる人と触れ合わせながら、夢やあこがれをもたせる。</li> <li>○身近な目標を達成させながら、自分に対する自信をもたせる。</li> </ul>	
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

重点指導事項			
	人と『かかわる』	よりよい生き方を『もとめる』	社会での役割を『はたす』
低学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や友達等身近な人々と接しながら、あいさつや返事をし、自分の気持ちを伝えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きなことや興味をもったことに進んで取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での手伝いや学級の係活動・清掃活動等に関心をもって取り組む。</li> </ul>
中学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力する中で、互いのよさを認め合ったり励まし合ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の夢や希望をもち、学習や体験活動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係活動の必要性がわかり自分の仕事に積極的に取り組む。</li> </ul>
高学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な集団の中で自己を生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢や目標をもち、将来の生活や仕事について、学習や体験活動を通して考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の役割や責任を果たすことで、人のために役立つ喜びを体験する。</li> </ul>

各教育活動における取組の観点				
各教科	道徳	総合的な学習	特別活動	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎・基本の定着</li> <li>・学ぶ意欲の向上</li> <li>・問題解決的学習</li> <li>・体験活動の重視</li> <li>・自己の生き方についての見識の育成</li> <li>・将来にわたる自己教育力の育成</li> <li>・地域の施設と人材の活用</li> <li>・言語活動の重視とコミュニケーション能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みやぎ先人集」の活用</li> <li>・児童の発達段階を考慮した指導</li> <li>・自己の生き方についての考えの深化</li> <li>・豊かな体験活動</li> <li>・基本的な生活習慣の確立</li> <li>・社会生活上の決まりの理解と実践力の育成および善悪の判断力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動を生かした探求的な学習構成</li> <li>・発達段階を考慮テーマ設定</li> <li>・活動をとおした「生きて働く力」の育成</li> <li>・体験活動の「言語化」「文章化」による表現力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「共生の精神」の涵養。社会性の育成</li> <li>・よりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度、自治的能力の育成</li> <li>・児童の自主性、自発的活動の重視</li> <li>・体験活動や異年齢集団活動、生活を改善する話し合い活動の重視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動指導計画における進路指導やキャリア教育の位置付け</li> <li>・外国語活動を通じた外国の文化理解や人とかかわりの重視</li> <li>・学校行事や教育諸活動をとおした忍耐力や継続する力の育成</li> <li>・地域の方々とかかわりの推進とあいさつや感謝する気持ちを進んで表す態度の育成</li> </ul>

<p>家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や身近な集団で自己の役割を果たす。</li> <li>・志シートを活用しながら夢や将来について話し合う。</li> </ul>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>期待される児童の姿</p> <p>人とかかわりの中で夢やあこがれをもち未来に向かってたくましく生きる子ども</p>
--------------------------------------------------------------

<p>地域との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の施設や人材の活用を積極的に行う。</li> <li>・学校を開き、説明責任を果たし評価と支援をいただく。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# 深谷小学校実践事例

全学年 「かさまつ太鼓」 音楽科（1，2年），総合的な学習の時間（3～6年）

## 1 実施時期

- ・地区民運動会 5月初旬 ～ 5月中旬
- ・高齢者施設慰問 7月下旬 ～ 8月初旬
- ・学習発表会 10月上旬 ～ 10月下旬
- ・太鼓引継ぎ式 2月上旬 ～ 2月下旬

## 2 志教育との関連

- かかわる** 太鼓を通して地域の方々と交流を図り，地域に伝わる太鼓を愛して下さる方々の思いや願いに触れることで，自身と地域との関わりを意識する。
- もとめる** 縦割り班の中で太鼓の叩き方を教え合う中で，より分かりやすく教えたい，より上手に叩きたい，と自身の技術向上を目指す。
- はたす** 自分の技術の向上が学校や地域の伝統を受け継ぐことにつながり，集団や地域のために自身の役割を果たそうと取り組む。

## 3 具体的な活動の流れ

### (1) 縦割り班ごとの練習

- ①役割の確認
- ②基本的な叩き方や連携の練習，声出し

### (2) 発表の機会

- ①地区民運動会
- ②学習発表会
- ③高齢者施設慰問（R1年度）

### (3) 太鼓引継ぎ式

※ H30 に実施した内容

- ①卒業生から在校生への激励と模範演技披露
- ②志旗「深谷魂」の引継ぎ
- ③在校生の決意表明と「新生かさまつ太鼓」の披露



## 4 活動の振り返り

### 【成果】

- ・学校や地域の伝統を受け継ぐ，という意識が高まっている。
- ・卒業生の中には，地域の太鼓保存会に参加している者もあり，地域の祭り等で活躍している。

### 【課題】

- ・練習時における地域の太鼓保存会との関わり方を模索する必要がある。
- ・外部から来ていただく指導者との連携の在り方を見直す必要がある。
- ・校内の指導体制の恒久化が急務。

# 白石市立福岡中学校の実践

## 1 志教育 全体計画

### 教育目標

心豊かで たくましく 学ぶ喜びを求める生徒の育成

- ◎ 思いやりがあり、正しく行動する生徒
- ◎ 自ら学び、自ら考え、探求心豊かな生徒
- ◎ 心身を鍛え、勤労と責任を重んじる生徒

[ 敬 愛 ]  
[ 美 知 ]  
[ 勤 労 ]

#### 学校課題

- 基本的な生活習慣や社会規範を身につけさせる。
- 地域・家庭との連携を高め、学校と一体となった取り組みをする。
- 常に課題意識を持ち、解決のための計画、実践、評価する力を育成する。

#### 生徒の実態

- ・素直でまじめだが受動的
- ・家庭学習不足
- ・ネットによる昼夜逆転の傾向がある

#### 保護者の願い

- ・分かる授業
- ・進路指導の充実
- ・ネットを正しく使う
- ・良好な人間関係
- ・家庭学習に取り組む

### 志教育の目標

- 望ましい人間関係の構築
- 適正な自己理解に基づいた目標設定
- 自己実現へ向けての知識・技能の探求

### 重点指導目標

人と「かかわる」

- ・自己を肯定的に捉えさせ、他者を理解し、尊重する態度を育てる。
- ・より良い人間関係を築く力や豊かな社会性を身につけさせる。
- ・人間関係の大切さを理解させ、信頼しあえる学級集団作りを努める。

よりよい生き方を「もとめる」

- ・将来の職業と学習との関わりを理解させ、主体的な学びを身につけさせる。
- ・学習や体験活動を通して、より深く追究しながら将来のより良い生き方を求めさせる。

社会での役割を「はたす」

- ・目標実現に向けて、最後までやり抜く態度を身につけさせる。
- ・地域の奉仕活動等に積極的に取り組み、自分たちの役割を果たす体験を通して社会の一員としての自覚をもたせる。

### 各教育活動における取り組みの観点

各教科	道徳	総合的な学習の時間	特別活動	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎基本の育成と学習意欲の喚起を図る。</li> <li>○学習課題の設定と追求する能力を養う。</li> <li>○互いの意見を尊重し、学び合う態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動を通じて道徳性を養うとともに、道徳的価値や生き方について自覚を深め、実践意欲を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。</li> <li>○「立志式」への取り組みを通して将来への見通しと意欲を持たせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○よりよい人間関係を築く中で、社会的規範意識の向上を図る。</li> <li>○生徒会活動に積極的に取り組み、自己の成長に資する機会とさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福岡中学校 PSC（自治防犯組織）の自治活動を通して、社会の一員としての自覚をもたせる。</li> <li>○奉仕活動として地域行事に積極的に参加することにより、地域の一員としての自分の役割を自覚させる。</li> </ul>

現職教育	保護者との連携	地域・企業との連携	校種間の連携
志教育についての基本的な理解を図るとともに、計画と実践を通して常に生徒の実態をとらえながら、よりよい指導や支援が展開できるようにする。	進路について考え、自己決定していく過程や、勤労観や職業観、社会人としての生き方や在り方の理解を図る際、積極的に保護者への協力を求めていく。	職場体験学習や職業講話、地域施設訪問など生徒の進路選択にかかわる学習への協力を依頼し、連携しながら勤労観や職業観の育成にあたっていく。	小中連携推進会議を通して、小学校との連携を図り、生徒のそれぞれの発達段階の理解を深め、互いに協力しながらよりよい指導や支援ができるようにする。



# 福岡中学校実践事例

## 2年生「職場体験」

## 総合的な学習の時間

### 1 実施期日

7月2日(火)・3日(水)

### 2 志教育との関連

**かかわる** 白石市内の事業所の協力をいただきながら、社会とのかかわりを通して望ましい職業観を育てる。

**もとめる** 将来の進路についての関心を高め、目的意識をもった生き方を考える。

**はたす** 自分の将来に夢や希望を抱き、進路決定に向けて努力しようとする態度を養う。

### 3 具体的な活動の流れ

#### (1) 事前指導

- ①働くことの意義について学ぶ。
- ②市内協力事業所リストから体験先を選ぶ。
- ③自己目標を設定したり質問を考えたりする。
- ④個人カード(履歴書のようなもの)を作成して送付するとともに、生徒が各事業所に電話で挨拶をする。
- ⑤職場体験学習日誌を作成する。



#### (2) 職場体験

- ①仕事内容を的確に把握し、指示に従って責任をもって仕事をする。
- ②事前に考えた質問をし、さらに学びを深める。



#### (3) 事後指導

- ①お礼状を作成し、送付する。
- ②体験学習を振り返り、自分の将来について考えながら職場体験新聞を作成する。
- ③文化祭で新聞を展示するとともに、体験先ごとに体験内容や学んだことを発表する。



### 4 活動の振り返り

#### 【成果】

- ・将来の夢が明確になり、進路実現のために今何をすべきか、どんな進路を選択すべきなのかを考えるようになった。
- ・職場体験学習後、親に対して感謝の気持ちを抱く生徒が増えた。

#### 【課題】

- ・自分の興味のある職種が白石市内の協力事業所の中にはなく、目的意識をもって職場体験をさせられなかったケースもあった。

# 宮城県白石工業高等学校の実践

## 平成31年度 「志教育」 全体計画

宮城県白石工業高等学校

校訓
誠実
学校教育目標
1 正しい判断力と創造性に富む知的な人間を育成する。 2 自主、自律の態度を養成するとともに、個性の伸長をはかる。 3 健康で情懷豊かな人間を育成する。 4 勤労を愛し、明朗で責任感の強い、誠実な工業技術者を育成する。

生徒の実態
○ 明朗・活発で、基本的な生活習慣はある程度身につけている。 ○ 卒業後についての目標を持ち、積極的に学校生活を送っている。 ○ 目標設定が低い傾向のある生徒が若干名いる。

「志教育」の目標
○ 他者を尊重し、協力しながら自己を律し、自己実現を目指す生徒の育成。 ○ 広い視野と高い課題意識を持ち、目標達成のために柔軟に対応できる生徒の育成。 ○ 将来の職業人として、社会の中で確実に役割を担い、その役割を果たす力と態度の育成。 ○ 地域産業の活性化に寄与する、確かなものづくりのできる高い倫理観を持った人材の育成。

保護者の願い
○ 心身共に健康で、協調と感謝の心を忘れず将来の目標に向けて充実した生活を送ってほしい。 ○ 社会のルールやマナーを身に付けた規範意識の高い生徒になってほしい。 ○ あいさつ、身だしなみなど基本的な習慣を身に付け、相手を思いやれる心を持った生徒になってほしい。

教師の願い
○ 豊かな情操、豊かな感性、豊かな想像力を身につけ、社会の変化に主体的に対応できる生徒の育成。 ○ 豊かな職業人として、他者と協力し、社会に貢献する人材を育成する。

### 重要指導事項

	かかわる		もとめる		はたす
	人と関わる力	自分と向き合う力	学び深める力	創る力	はたす力
1年	よりよい人間関係を構築し、他者と協力し物事に取り組む力を高めさせる。	自己理解に努め、自己を律する力を養い、他者を寛容する力を高める。	自己の可能性を高めるために、日常生活における整った姿勢や形がいかに重要かを認識させ、主体的に学習に取り組ませる。	自己の興味・関心・適性を分析させ、それに応じた進路について考えさせる。	学校や社会において自分の果たすべき役割を自覚させ、積極的に学校生活に取り組ませる。
2年	学校行事や地域の行事に積極的に参加させる。	学校行事、地域社会の中での自己の在り方、生き方の価値を考えさせる。	本校への入学目的を再認識させ、将来の進路目標を明確にし、今取り組むべきことに力を注がせる。	問題解決能力の向上と、より良い環境を創るための発信力を高める。	インターンシップやものづくり企業見学会、修学旅行などを通して、社会の仕組みを理解し職業人としての意識を高める。
3年	互いに高め合う人間関係を構築させる。	自己を客観視し、自己の在り方、生き方にかかわる価値観の認識を深めさせる。	進路実現を図る上で、自己課題を解決していく態度やスキルを身につけさせる。	将来についての総合的・現実的な理解に基づいて進路を主体的に切り拓かせる。	社会の一員として、職業という役割を担い、その責任を果たすための努力をいとわない姿勢と心構えを持たせる。

各教育活動における取り組みの観点	
各教科	基礎・基本となる内容を確実に身につけ、それを基に自己の課題を見つけ自ら考え、問題を解決する能力を育てる。
道徳	学校の教育活動全体を通じて、自己を見つめ、他者を尊重しながら人間としての在り方、生き方を探究し、自己実現を目指した実践力を育てる。
総合的な学習の時間	自己の進路に対する課題を見つけ、自ら考え、問題を解決する能力を育てる。また、学び方や物事の考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に取り組む態度を育てる。
特別活動	コミュニケーション能力を高め、望ましい人間関係の構築を軸に、各活動を進める。各種体験活動をおとし、自主的・実践的な態度を養う。
その他	清掃活動を通じて、勤労の意義や尊さを理解し、働くことや創造することの喜びを体得し、社会奉仕の精神を養いながら、達成感、公共心を醸成しつつ、好ましい人間関係を育てる。

各学年の取り組み内容	
1年	校訓「誠実」のもとに規範意識を高めつつ、より良い人間関係の形成力を養い、高校生活への適応を図る。ものを大切にする「ものづくり」の基本精神を根付かせ、自己及び他者理解を深めさせる。
2年	学校行事や地域行事へ積極的に参加させ、望ましい人間関係の構築を進められるようにする。自己の個性や進路の理解を基に進路の具体的・現実的な吟味をさせ、進路目標および具体的な進路計画の設定ができるようにする。
3年	互いに高めあう人間関係を形成する能力を育てる。自己の進路等に關連する具体的な課題を設定させ、その解決に向けた実践的な態度および社会参画への自覚や意欲を高めていく。

家庭との連携	
○ PTA総会、地区PTA懇談会、公開授業、三者面談・学校アンケート調査などの機会を通じて情報交換を図り、PTAの連携を充実させる。 ○ 学校新聞、学級新聞、進路だより、ホームページにより学校の様子をこまめに知らせ、保護者への安心保障と信頼関係を築く。	

地域・企業との協働	
○ インターンシップや工場見学、社会人講話を実施すると共に、熟練技能者による技術指導等企業の教育力を活用する。 ○ 白石市役所や各自治体および大河原地方振興事務所等と連携を図り、各種団体が主催する行事へ積極的に生徒を参加させ、社会の一員であることを自覚させる。 ○ 学校開放講座、中学校への出前授業などの講師を生徒が務め、日常の学習で身につけた専門力を活用する場面の設定に努める。 ○ 地元の中学校との交流の機会をもち、様々な協働活動の中で自己の役割を主体的に果たすことで、地域社会との連携を深める。	

## インターンシップ（就業体験学習）

### 1 実施時期

2年次の6月から9月までの期間（※実施時期については協力事業所と相談のうえ決定する）

### 2 志教育との関連

**かかわる** 地域・産業界（各事業所）の協力をいただきながら、インターンシップを通して、地域社会の中での自己の在り方、生き方の価値を考える。

**もとめる** 将来求められる職業人としての資質について学び、社会で働くことへの理解を深め、自分の適性を知ることによって進路目標を明確にし、今取り組むべきことに力を注ぐ。

**はたす** 社会の仕組みを理解し、進路意識を高め、職業人としての心構えの形成を図る。また、学校の学習が実社会とどのように関連しているかを理解するとともに自己理解を深め、進路決定に向かう。

### 3 具体的な活動の流れ

#### （1）インターンシップ報告会の見学

1年次に2年生が行う報告会を見学し、次年度のインターンシップに向けての心構えを持つ。

#### （2）企業調べ・自己目標の設定

体験企業先の決定後、企業調べを行い、事業内容等について詳しく知り理解する。また、インターンシップの体験をとおして、身に付けたい力や学びたい事柄などを自己目標として明確に設定する。

#### （3）事業所との事前打合せ

インターンシップ実施前に体験先の事業所と打合せを行う。打合せは、①体験内容、②就業時間、③心得（注意事項や危険）等について確認を行う。その際に自己目標と抱負などをレポートにまとめたものを提出する。

#### （4）インターンシップの実施

#### （5）お礼状及び報告書の作成

#### （6）インターンシップ報告会の実施

インターンシップを振り返り、体験内容や学んだことなどをまとめて報告することで、考えの深化、及び学びの定着を図る。



### 4 活動の振り返り

#### 〔成果〕

- ・実践的な専門技術，社会に通じる技術・技能の習得を目指すことができた。
- ・豊かな人間性，確かな学力，付加価値の高い専門性を身に付けるよう努力できた。
- ・職業人として勤労の意義や目的について深く考えることができた。

#### 〔課題〕

- ・一時的な体験にとどめることなく，普段の学習活動や学校生活における具体的な改善活動に反映していくこと。
- ・自らの将来について，早期から目標を持ち，その実現のために，必要な資質，能力や身に付けるべき技能を主体的に考え行動すること。

# 宮城県立角田支援学校白石校の実践

## 志教育指導計画(中学部)

学期	各教科等を合わせた指導				領域別の指導				
	日常生活の指導	作業学習	国語	数学	音楽	保健体育	特別活動	道徳	自立活動
1	<p>○朝の会、昼の会、帰りに応じた挨拶や返事をする。会の中心の役割活動などを通して集団意識を高めます。(かかわる・はたす)</p> <p>○身辺処理・非排泄、手洗いの基本的生活習慣を身に付ける。(もとめる・はたす)</p> <p>○係活動、清掃活動、役割分担を通して、集団の一員としての意識を高めます。(もとめる・はたす)</p>	<p>○みんなで作ろう</p> <p>○製作活動では、作業工程を理解し自分の役割を果たす。(はたす・かかわる)</p> <p>○即売品製作</p> <p>○集中力や手指の巧み性を高め、最後まで責任感を身に付ける。(はたす)</p>	<p>教科の学習活動を通して、生活に必要な言葉や数の知識などを身に付ける。(もとめる)</p>	<p>教科の特性を生かした学習活動を通して、基礎的・基本的な知識・技能を高めます。(もとめる・かかわる)</p>	<p>○体育祭</p> <p>○体中生徒と一緒に練習を行う。(はたす・もとめる・かかわる)</p> <p>○各種運動</p> <p>○様々な運動に取り組む力を高める。基礎的・本能的な知識や技能を高める。意識させる場所(動き)を動かす目ざしき、正しい動きを獲得させる。(もとめる・はたす)</p> <p>○集団行動</p> <p>○決まりやルールを守って、友達と安全に協力して運動する。(もとめる・かかわる)</p>	<p>○白石中学校交流や美術学級交流</p> <p>○白流祭などの白中の行事に参加し、顔合わせ会、役割を果たした活動や当日の振り返りを行う。(かかわる・もとめる)</p> <p>○わくわく集会</p> <p>○小中学校部合同の集会活動を通して、役割を果たした力身に付ける。(もとめる・かかわる)</p> <p>○進路学習会</p> <p>○高等部などの見学や体験を通して自らの進路について考える。(もとめる)</p> <p>○クリナーン大作戦</p> <p>○校内の清掃活動や地域の方々と交流を深める。(かかわる)</p> <p>○実務学級交流</p> <p>○クリス마스会や節分集会を通して、役割を果たした活動や当日の振り返りを行う。(かかわる)</p> <p>○本校交流</p> <p>○ゲームやダンスなどの活動を通して、本校の生徒との交流を図り、好ましい行動の関わり方を身に付ける。(かかわる)</p>	<p>○個々の生徒が自立を目指す上、学習障害や生活上の困難を克服するために必要となる(知識、技能、態度及び習慣)を身に付けるための学習を行う。個別の指導計画を作成し、その学習を進める。(もとめる・はたす)</p>	<p>○生徒の興味・関心や教育的ニーズにより、見学や体験学習を中心とした主体的な活動を実施する。</p> <p>○白石の伝統工芸品(こけしの絵付け)について知り、工屋の見学や体験学習を行い、地域で開催される全国こけしコンクールに出展する。</p> <p>○体験学習して分かったこととをまとめる。(かかわる・もとめる)</p>	<p>○地域の特産物(米、うーめん、果物など)や文化(茶道など)を調べたり地域の施設や畑、果樹園等で体験活動を行ったりする。体験したりしたこととをまとめる。発表したりする。(かかわる・もとめる)</p>
2	<p>○文化祭をしよう</p> <p>○文化祭へ向けて見通しを持ち、意欲的にスティージ発表や作品製作に取り組む。また、友達と協力する中でお互いの良さを認め合い、励まし合う。即売品の練習において自分の役割を果たす態度を身に付ける。(かかわる・もとめる・はたす)</p>	<p>○就業体験</p> <p>○仕事を通じて社会との関わりを体験し、社会的基礎を養う。(かかわる・もとめる・はたす)</p> <p>○即売品製作</p> <p>○仕事に責任を持ち、取組むことへの意欲を高める。販売物を製作することへの意識付けを行う。(はたす)</p>	<p>教科の学習活動を通して、生活に必要な言葉や数の知識などを身に付ける。(もとめる)</p>	<p>教科の特性を生かした学習活動を通して、基礎的・基本的な知識・技能を高めます。(もとめる・かかわる)</p>	<p>○体育祭</p> <p>○体中生徒と一緒に練習を行う。(はたす・もとめる・かかわる)</p> <p>○各種運動</p> <p>○様々な運動に取り組む力を高める。基礎的・本能的な知識や技能を高める。意識させる場所(動き)を動かす目ざしき、正しい動きを獲得させる。(もとめる・はたす)</p> <p>○集団行動</p> <p>○決まりやルールを守って、友達と安全に協力して運動する。(もとめる・かかわる)</p>	<p>○白石中学校交流や美術学級交流</p> <p>○白流祭などの白中の行事に参加し、顔合わせ会、役割を果たした活動や当日の振り返りを行う。(かかわる・もとめる)</p> <p>○わくわく集会</p> <p>○小中学校部合同の集会活動を通して、役割を果たした力身に付ける。(もとめる・かかわる)</p> <p>○進路学習会</p> <p>○高等部などの見学や体験を通して自らの進路について考える。(もとめる)</p> <p>○クリナーン大作戦</p> <p>○校内の清掃活動や地域の方々と交流を深める。(かかわる)</p> <p>○実務学級交流</p> <p>○クリス마스会や節分集会を通して、役割を果たした活動や当日の振り返りを行う。(かかわる)</p> <p>○本校交流</p> <p>○ゲームやダンスなどの活動を通して、本校の生徒との交流を図り、好ましい行動の関わり方を身に付ける。(かかわる)</p>	<p>○個々の生徒が自立を目指す上、学習障害や生活上の困難を克服するために必要となる(知識、技能、態度及び習慣)を身に付けるための学習を行う。個別の指導計画を作成し、その学習を進める。(もとめる・はたす)</p>	<p>○生徒の興味・関心や教育的ニーズにより、見学や体験学習を中心とした主体的な活動を実施する。</p> <p>○白石の伝統工芸品(こけしの絵付け)について知り、工屋の見学や体験学習を行い、地域で開催される全国こけしコンクールに出展する。</p> <p>○体験学習して分かったこととをまとめる。(かかわる・もとめる)</p>	<p>○地域の特産物(米、うーめん、果物など)や文化(茶道など)を調べたり地域の施設や畑、果樹園等で体験活動を行ったりする。体験したりしたこととをまとめる。発表したりする。(かかわる・もとめる)</p>

# 宮城県立角田支援学校白石校実践事例

## 就業体験 作業学習（2・3年）

### 1 実施期間

12月3日（火）～12月5日（木） 8：30～14：45

### 2 志教育との関連

**かかわる** 社会とのかかわりを体験し、自立への基礎を養う。

**もとめる** 将来の進路に対する意識を高める。

**はたす** 体験をとおして、働く態度や仕事に対する責任感を身に付ける。

### 3 具体的な活動の流れ

#### （1）事前指導

- ①就業体験の意義やねらい等を知り、意欲や見通しを持つ。
- ②体験場所や内容、方法等を知る。
- ③自分の目標を考える。
- ④日程や準備物を確認し、日誌を作成する。

#### （2）就業体験

- ①仕事の内容を知り、見通しを持って取り組むとともに、自分の仕事に責任を持って最後まで取り組む。
- ②指示や説明を聞いたり、報告したりする。
- ③体験先の指示に従って作業をする。
- ④職員や利用者とのコミュニケーションを図る。

#### （3）事後指導

- ①自分の活動を振り返り、反省と今後について考える。
- ②体験先にお礼状を作る。



### 4 活動の振り返り

#### 成果

- ・就業体験を通して実際にいろいろな仕事を経験することで、自分の中にある作業能力を新たに発見し、集団の一員として働く喜びを味わうことができた。
- ・期間中に実施した施設見学会を通して進路に対する保護者の意識の向上が図れた。

#### 課題

- ・働くということがどういうことか気付きはあったが、将来の就労を考えるには至っていない。
- ・新しい環境への適応の向上。
- ・立ち仕事に向かう体力の向上、集中力を付けること。